



## 「温もりのある透明性」が 人と街をつなげるクリニック

院長である施主の「木の温もり」のイメージを実現し、木材を利用することにより患者も医療従事者も心を落ち着かせ前向きな気持ちで過ごせる「温もりある透明性」をもったクリニック。

大きな庇は縁側のような安心感を与え、患者が長く滞在する待合室などは木材をふだんに使い、落ち着きある空間を創出し、ガラス面から木の温もりが街に表出することで、良好な街なみづくりに貢献している。

スギやタモ、レッドシダー、ラワンなど様々な木材を適材適所に用いている。

# たけなか外科内科 こどもクリニック

名古屋市北区金城町4-72

構造／鉄骨造地上2階 延床面積／543.37m<sup>2</sup>

竣工／2019年12月

木材使用量／36.5m<sup>3</sup>

施主／竹中 拓晴

設計／TSCアーキテクト

構造設計／モヴ構造設計

リズムデザイン構造計画事務所

施工／東海インプル建設

受賞歴／デタロ・ミノッセ国際建築賞2021/2022 審査員賞

JIA優秀建築選2020-2021

Architizer A+ Awards 特別賞

A'Design Award 2020 金賞 (イタリア)

第27回愛知まちなみ建築賞

パレバラ・カポキン国際建築賞2019入選 (イタリア)



写真撮影：ToLoLo Studio